

令和8年3月12日

備品精査について（案）

1. 備品精査の概要

	新中学校校舎	特別教室棟（勝山高校校舎）	給食室棟
新調備品	<ul style="list-style-type: none"> 普通教室、職員室（生徒・教員の机・いす等） 図書館、1階の広場、個別・グループ学習エリア、多目的室、English ルーム、他教科室（机・いす、棚、家具等） 	<ul style="list-style-type: none"> （中・高等学校共用の教室） 調理室・被服室・美術室・音楽室は県が整備（移設が必要な備品を県と調整） （中学校専用の教室） 理科室の実験台、戸棚等の設備は県が整備（その他の必要な備品は移設） 	<ul style="list-style-type: none"> 調理器具や衛生管理用品（作業台、クリーンロッカー等）
移設備品	<ul style="list-style-type: none"> 校長室、特支室、相談室、保健室、施設員室、生徒会室、学年支援室、各準備室の机、いす等 	<ul style="list-style-type: none"> 被服室、美術室、技術室の机、いす、機械、音楽室の楽器、理科実験器具等 	<ul style="list-style-type: none"> 配膳に係る運搬車、食缶や事務机、いす、ロッカー等
経費	<ul style="list-style-type: none"> 備品費（生徒約467人分、教員45人分の机・いす等） 消耗品費（時計、清掃用具等） 運搬費 	<ul style="list-style-type: none"> 技術室大型機械撤去設置費（3中学校から取り外し、運搬、取り付け） 	<ul style="list-style-type: none"> 備品費（作業台、クリーンロッカー等） 消耗品費（調理道具、食器等）

（その他の備品について）

- ①体育関係の備品については勝山高校と相談し、スペースも考えて移動する。
- ②図書の本を精査をさらに進める。
 - ・現在各中学校にある蔵書の半分を目途に廃棄する本を選定する。→選定確認（中部：11487冊、南部：12080冊、北部11149冊→半分を精査）
 - ・勝山市立図書館、勝山高校とも連携をしながら作業を進める。
- ③PTA、寄贈、卒業記念品、その他（庁用備品、施設員関係等）の備品を精査する。
 - ・校長会、教頭会、事務部会と相談しながら行う。
 - ・歴史的なものについては専門の方と相談する。
- ④部活動備品は地域移行も注視し、部活動担当（勝高・3中）と協議を進める。

2. スケジュール

- ①令和7年度年度末を中心に新中学校に持って行く備品に印をつける。
（新中学校校舎、特別教室棟に分け、ラベリング作業）
- ②令和7年度春休みを中心に移動できるものを中部中に移動する。
（持っていても令和8年度に支障のないもの）
- ③令和8年度夏休みに3中学校の図書の本を中部中に集める。（3中の図書館閉館）
（勝山市立図書館に図書の本のシステム登録を依頼する）
- ④令和8年度冬休みを中心に特別教室棟への移設作業をする。
（ピアノの移動、技術室の移設は別途県と協議をする）
（調理室、被服室、家庭科室、音楽室、理科室、技術室の備品を運搬する）
- ⑤令和8年度3月中旬～3月下旬を中心に新中学校への備品移動をする。
（校長室、職員室、保健室、施設員室、特支室、相談室、生徒会室、学年支援室、各準備室等）

3. その他

（留意事項）

- ・建設関係（特別教室棟、新中学校校舎）、県、勝高と連絡調整をしながら進める。
- ・令和9年3月は日程が過密になっているため、関係機関とも早めの調整をして計画する。
（修学旅行、竣工式、卒業式、修了式、退任式、閉校式→物品移動）
- ・余剰備品等の精査は令和9年度4月以降に計画する。